

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

あっという間に、この手紙で1年が終わろうとしています。

本当に今年1年も変化の年になり、変わってしまった日常が戻らないこともあると感じています。とは言え、コロナの感染状況も全国的に落ち着いてきているため、今年の年末は人の動きもあると思うので、我々としても準備を整えお客様を迎え入れたいですね。

改めて今年1年間も無事に乗り越えることが出来たことに感謝しています。

来年は、企業として新たな挑戦をしていく1年にします。

さて、今月の社長からの手紙は、今年1年を振り返りながら書き綴ってみたいと思う。

今年1年も昨年と同じように新しい環境への挑戦を試みた1年であり、コロナの対応に追われた1年でもある。人命を考えればコロナなどない方が良いが、発生している状況であれば、その中で変化を前向きに捉えて成長に繋げる事が非常に大切な1年でもあった。

火の魂カンパニーとしては、県や政府から補助してもらえぬ新事業が今年の年末に開始される。1つ目がラーメン店へスープを卸す食材卸事業が始動し、2つ目が全国のテイクアウト専門店に鯛焼きを卸す事業が始まる。コロナが起きなければ始まらなかった事業であり、新事業ということで県や政府の支援を頂けなかったのが、弊社としてはピンチがチャンスに変わった1年でした。私も経営者として守りに入る(変化を恐れて何もしないという意味での守り)気持ちになりそうになったのも事実だが、やはり経営方針所にも書いてあるように、『ピンチは成長のチャンス』と考え、今しかできないこと、このコロナが起きたから出来ることを前向きに捉えたから新しい事業への挑戦が出来たと思います。

この1年で取り組んだことは、スープ卸の新事業、鯛焼きを卸す新事業、スイーツテイクアウト事業、そして餃子の卸し製造工場を設立する。その今だから出来ることに特化して、その新事業を任せるための社員教育、特に社員の店長チャレンジを積極的にを行い、新たな新事業を社員に任せられるように育成を進めさせて頂きました。

とは言え、現場で働いている社員は店舗で行う業務は日々変化が見えていないが、会社全体では社員の次のステージを数多く用意する1年でもありました。

新卒採用もコロナ禍で各企業は採用人数を減らす中で、弊社火の魂カンパニーは「優秀な人材を採用するチャンス！」と考え、今年も新卒社員を9名採用することを決定した。

世の中は不景気と言われるが、実は景気に左右されるのは大企業であり、我々中小企業は本来、不景気の方が、ビジネスチャンスが多く生まれている。理由としては景気が良ければ大企業は人を採用し、中小企業は人が採用しにくくなる、逆に不景気になれば大企業は人の採用人数を減らし、中小企業は優秀な人材を採用するチャンスとなるわけです。

私は、このコロナ禍で将来の幹部候補を取ると決めていました。採用をフルスイングで行った成果が、間もなく成果として現れます。2022年度は火の魂カンパニー創業以来の成長が形に現れ、その成果に大きく貢献した者を未来の幹部候補にしていきます。